

「ここが知りたい 循環器の薬と使い方」〈1版2刷〉正誤表
(2017年8月現在)

このたびは「ここが知りたい 循環器の薬と使い方」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

283 頁 表

(誤) mL/kg

(正) kg/min

処方例と副作用	
硝酸薬	ニトログリセリン (ミリスロール®など)
適応	急性心不全 (うっ血があり末梢循環不全がない)
推奨量	0.5~10 $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{min}$ で持続静脈投与
副作用	頭痛
注意	過度の血圧低下, 肺内シャント増加による低酸素, 耐性
硝酸薬	硝酸イソソルビド (ニトロール®など)
適応	急性心不全 (うっ血があり末梢循環不全がない)
推奨量	0.5~3.3 $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{min}$ で持続静脈注射
副作用	頭痛
注意	過度の血圧低下, 肺内シャント増加による低酸素, 耐性
冠拡張薬	ニコランジル (シグマート®など)
適応	急性心不全 (うっ血があり末梢循環不全がない), 虚血の関与ある心不全
推奨量	0.05~0.2 $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{min}$ で持続静脈注射
副作用	頭痛
注意	耐性は生じにくく過度の降圧は少ないが, 血圧低下にはやはり注意
hANP	カルペリチド (ハンブ®)
適応	急性心不全 (うっ血があり末梢循環不全がない)
推奨量	0.0125~0.025 $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{min}$ で開始し用量を調節, 0.2 $\mu\text{g}/\text{mL}/\text{kg}$ まで
注意	単独ライン, 前負荷が少ない症例で過度の降圧が生じる

「ここが知りたい 循環器の薬と使い方〈1版1刷〉」正誤表
(2017年4月現在)

この度は「ここが知りたい 循環器の薬と使い方〈1版1刷〉」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

目次 vi 上から5行目

(誤) 1. アミオダ~~オ~~ロン……………

(正) 1. アミオダロン……………

61頁 図 「処方例と副作用」

(誤) (処方例1) シタグリプチン (ジャヌビア®, グラティブ®)

(正) (処方例1) シタグリプチン (ジャヌビア®, グラ~~ク~~ティブ®)